

2016年度 第1四半期連結決算概要

2016年8月8日
ブラザー工業株式会社

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

単位：億円

	16Q1	15Q1	増減率 ()は為替影響除く増減率
売上収益	1,575	1,641	-4.0% (+4.5%)
事業セグメント利益	201	153	31.6%
事業セグメント利益率	12.8%	9.3%	
営業利益	211	164	28.7%
営業利益率	13.4%	10.0%	
税前利益	211	166	27.1%
純利益	153	116	31.8%
換算レート			
USD	109.07	121.34	-
EUR	122.47	133.86	-

- ✓ 産業機器が大幅減収となったものの、P&S事業は現地通貨ベースでは増収を達成
- ✓ 利益面は、円高によるマイナス影響（▲23億円）があるものの、P&S事業の収益改善に向けた取り組みや、円高による在庫未実現利益の消去に係る会計処理が一時的にプラス方向に働いた効果もあり、増益となる

© 2016 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2

<売上収益>

通信・プリンティング機器は、現地通貨ベースでは対前年で+2.0%の増収。産業機器も、前年が出来すぎであったこともあり、大幅な減収となったが、足下ではIT向けも昨年の下期に比べると回復の傾向が感じられ、ますますの出し。ドミノ事業も、中国市場が落ち込んでいることを除けば、概ね堅調に推移。

<事業セグメント利益>

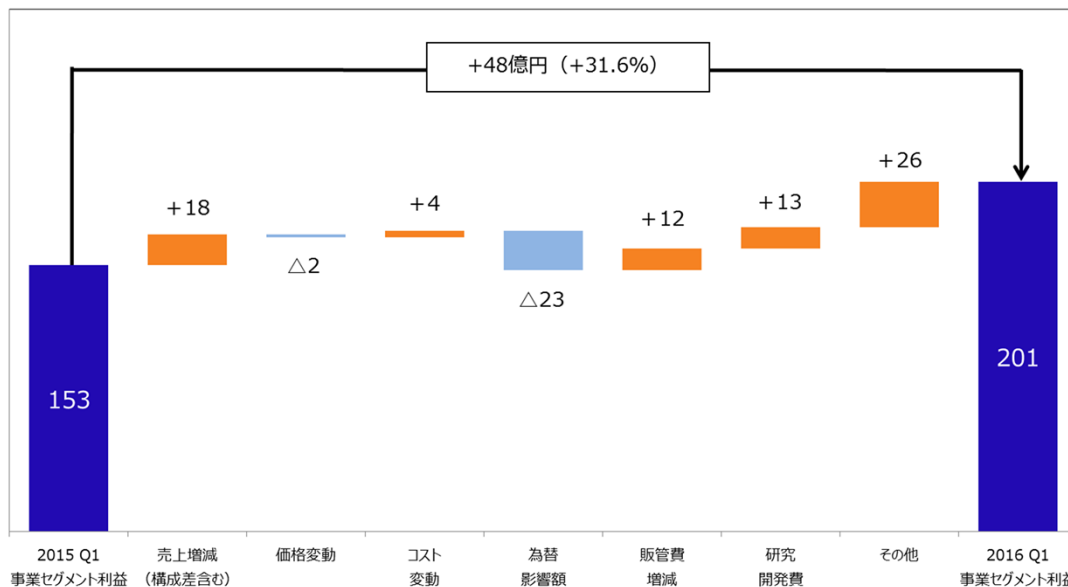
Q1の利益は想定以上。

為替のマイナス影響が▲23億円があったものの、主にP&S事業で、販促費の効率化や、開発費を含む経費の減少の効果があったことに加え、円高により、在庫未実現利益の消去に係る会計処理の影響がプラス面に働いたこと、昨年あったドミノ社の取得費用がなくなった影響などにより、増益となった。

事業セグメント利益増減要因 <16Q1実績>



単位：億円



© 2016 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

3

※補足はありません

2016年度第1四半期 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	16Q1	15Q1	対前年 増減率	対前年 増減率
全社	1,575	1,641	-4.0%	4.5%
プリンティング & ソリューションズ	953	1,039	-8.3%	2.7%
パーソナル & ホーム	95	109	-12.6%	-2.1%
マシンリー	230	347	-33.9%	-29.5%
ネットワーク & コンテンツ	126	119	5.6%	6.0%
ドミノ	144	-	-	-
その他	28	27	1.2%	1.2%

事業セグメント利益	16Q1	15Q1	伸び率
全社	201	153	31.6%
プリンティング & ソリューションズ	169	103	64.6%
パーソナル & ホーム	△ 0	7	-
マシンリー	19	62	-69.7%
ネットワーク & コンテンツ	4	△ 3	-
ドミノ	9	-	-
その他	1	△ 16	-

営業利益	16Q1	15Q1	伸び率
全社	211	164	28.7%
プリンティング & ソリューションズ	179	110	62.5%
パーソナル & ホーム	0	7	-98.5%
マシンリー	19	63	-69.2%
ネットワーク & コンテンツ	3	△ 3	-
ドミノ	9	-	-
その他	1	△ 13	-

© 2016 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4

※補足はありません

■ プリンティング&ソリューションズ事業

・US/日本でもIJPの大容量カートリッジモデルを投入



INKvestment

MFC-J985DW

・モノクロLBPの高速・高耐久モデルを一新



HL-L6400DW



MFC-L5755DW



MFC-L6900DW

・米国の独立評価機関 Buyers Laboratory LLC から、プリンター・複合機部門スキャナにおいて、5つの「Summer 2016 Pick」を受賞



■ 産業機器

・複合加工機の後継機 SPEEDIO M140X2 を発売



SPEEDIO M140X2



マシニング加工



旋削加工

■ 産業用印刷準事業

・レーザーマーカ―「LM-2500」を発売



LM-2500



モーター部品への
生産情報の印字



スイッチ部品への
ロット番号の印字

※補足はありません

2016年度 連結業績予想概要

単位：億円

	16年度予想	前回予想	増減率	15年度実績	増減率 ()は為替影響を除く増減率
売上収益	6,400	6,575	-2.7%	6,821	-6.2% (+4.7%)
事業セグメント利益	500	460	8.7%	549	-9.0%
事業セグメント利益率	7.8%	7.0%		8.1%	
営業利益	485	450	7.8%	586	-17.3%
営業利益率	7.6%	6.8%		8.6%	
税前利益	485	450	7.8%	572	-15.2%
純利益	335	315	6.3%	412	-18.8%
換算レート					
USD	106.09	110.00		120.16	
EUR	117.25	125.00		132.36	

<業績予想の変更ポイント>

- ・売上収益 … 為替の前提レート見直しによるマイナス影響（約▲210億円）を織り込み
- ・事業セグメント利益 … 為替のマイナス影響（約▲70億円）を織り込むも、Q1決算時点における進捗度を考慮し、前回見直しから引き上げ

※補足はありません

2016年度 連結業績予想 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	16年度予想	前回予想	増減率	15年度実績	対前年増減率	為替影響を除く増減率
全社	6,400	6,575	-2.7%	6,821	-6.2%	4.7%
プリンティング & ソリューションズ	3,743	3,845	-2.6%	4,150	-9.8%	2.1%
パーソナル & ホーム	474	488	-2.7%	510	-7.0%	5.5%
マシナリー	936	959	-2.4%	993	-5.7%	0.5%
ネットワーク & コンテンツ	518	525	-1.3%	539	-3.9%	-3.6%
ドミノ	582	614	-5.2%	483	20.4%	46.1%
その他	147	144	1.5%	146	0.8%	0.6%

事業セグメント利益	16年度予想	前回予想	伸び率	15年度実績	伸び率
全社	500	460	8.6%	549	-9.0%
プリンティング & ソリューションズ	345	300	15.0%	336	2.8%
パーソナル & ホーム	34	38	-10.7%	48	-28.5%
マシナリー	58	57	1.6%	114	-49.2%
ネットワーク & コンテンツ	20	20	-	22	-8.1%
ドミノ	38	40	-4.1%	38	-1.0%
その他	5	5	-	△ 8	-

営業利益	16年度予想	前回予想	伸び率	15年度実績	伸び率
全社	485	450	7.8%	586	-17.3%
プリンティング & ソリューションズ	338	294	15.0%	390	-13.4%
パーソナル & ホーム	34	37	-8.1%	49	-30.2%
マシナリー	56	56	-	114	-50.8%
ネットワーク & コンテンツ	18	18	-	△ 5	-
ドミノ	34	40	-15.0%	35	-3.5%
その他	5	5	-	3	56.7%

※補足はありません

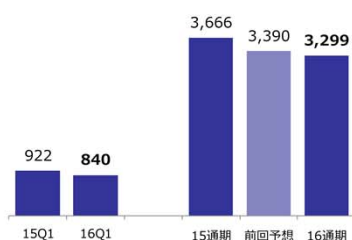
プリンティング&ソリューションズ事業 売上収益・営業利益

brother
at your side

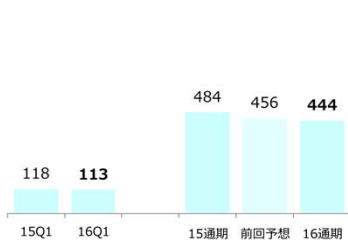
単位：億円

	15Q1	16Q1	対前年 伸び率	現通 [△] -1 伸び率	15通期	前回予想	16通期	対前年 伸び率	対前年 現通 [△] -1 伸び率
売上収益	1,039	953	-8.3%	2.7%	4,150	3,846	3,743	-9.8%	2.1%
通信・プリンティング機器	922	840	-8.9%	2.0%	3,666	3,390	3,299	-10.0%	1.9%
米州	348	327	-6.2%	7.2%	1,393	1,252	1,225	-12.1%	1.3%
欧州	307	252	-17.9%	-8.4%	1,221	1,124	1,043	-14.6%	-1.3%
アジア他	166	142	-14.8%	-0.2%	600	559	543	-9.5%	3.5%
日本	100	119	19.3%	19.3%	453	455	488	7.8%	9.9%
電子文具	118	113	-3.5%	8.0%	484	456	444	-8.1%	4.0%
米州	57	54	-4.9%	7.3%	230	213	209	-9.4%	3.6%
欧州	35	33	-6.8%	3.6%	147	138	129	-12.5%	0.8%
アジア他	17	16	-3.6%	13.1%	69	65	63	-4.9%	4.9%
日本	8	10	20.6%	20.6%	38	40	44	17.3%	17.3%
事業セグメント利益	103	169			336	300	345		
営業利益	110	179			390	294	338		

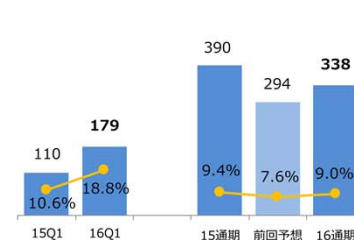
<売上収益> 通信・プリンティング機器



<売上収益> 電子文具



<営業利益>



© 2016 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

8

欧州や中東が少し弱かったものの、米州や中国、日本は堅調に推移。
米国は、インクジェットの大容量カートリッジモデルのセルインが好調。
中国は、長く続いた在庫調整が終わりセルインが順調。
日本は、レーザー製品のOEMが引き続き好調。

<通信・プリンティング機器の対前年売上伸び率の内訳>

①本体/消耗品別

製品本体 + 9%
消耗品 - 2%

②印字技術別

IJP 1桁前半%のプラス
LBP 1桁前半%のプラス

<売上構成>

IJP 25%強
LBP 70%強

パーソナル&ホーム事業
売上収益・営業利益



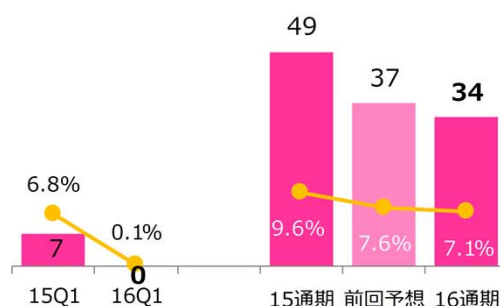
単位：億円

	15Q1	16Q1	伸び率	現通対前通 伸び率	15通期	前回予想	16通期	対前年 伸び率	対前年 現通対前通 伸び率
売上収益	109	95	-12.6%	-2.1%	510	488	474	-7.0%	5.5%
米州	61	49	-19.8%	-7.9%	304	282	278	-8.6%	5.8%
欧州	22	23	3.6%	13.1%	101	97	92	-9.6%	2.7%
アジア他	17	15	-12.7%	0.1%	62	62	60	-2.2%	9.6%
日本	9	9	-3.2%	-3.2%	43	47	45	3.8%	3.8%
事業セグメント利益	7	△ 0			48	38	34		
営業利益	7	0			49	37	34		

<売上収益>



<営業利益>



© 2016 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

9

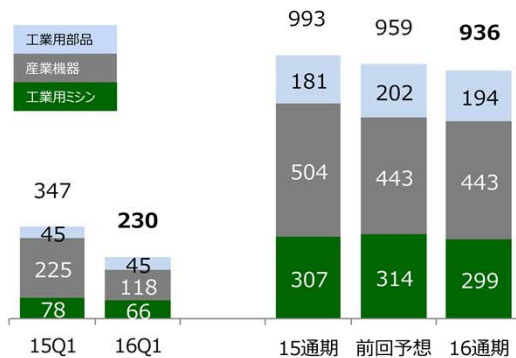
米州がマイナスとなったが、セルアウト自体に大きな変化はなく、Back to School 商戦に向けた製品投入のタイミングが前年と比べ後ろ倒しになったことによるセルインの減が影響したものの。

欧州においては、ロシアは依然低調なもの、西欧諸国は2桁増の国も多く、好調が持続。

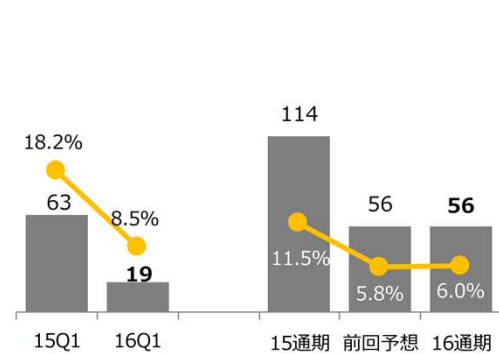
利益面は、為替のマイナス影響に加え、米国でのセルインの減少に伴う粗利の減が大きく影響

	15Q1	16Q1	伸び率	現通Q1-1 伸び率	15通期	前回予想	16通期	対前年 伸び率	対前年 現通Q1-1 伸び率
売上収益	347	230	-33.9%	-29.5%	993	959	936	-5.7%	0.5%
工業用マシン	78	66	-15.1%	-4.8%	307	314	299	-2.7%	10.4%
産業機器	225	118	-47.3%	-44.9%	504	443	443	-12.1%	-9.2%
工業用部品	45	45	1.4%	4.9%	181	202	194	6.9%	10.5%
事業セグメント利益	62	19			114	57	58		
営業利益	63	19			114	56	56		

<売上収益>



<営業利益>



工業用マシンは、円高の影響に加え、景気減速の影響もあり、中国・アジア地域が減収。

米州も、ガーメントプリンターは堅調だったものの、アパレル向けのマシンの売上がやや低迷。

産業機器は、昨年の反動で大幅な減収とはなったものの、中国のIT関連顧客向けの需要に回復感が出てきたことに加え、自動車関連市場向けも、米州を中心に総じて堅調に推移。

工業用部品は、各地域とも堅調に推移。

利益面は、産業機器の減収影響が大きく、大幅な減益に。

マシナリー事業 売上収益・営業利益（地域別）



単位：億円

	15Q1	16Q1	伸び率	対前年 増減率	15通期	前回予想	16通期	対前年 伸び率	対前年 増減率
売上収益	347	230	-33.9%	-29.5%	993	959	936	-5.7%	0.5%
工業用マシン	78	66	-15.1%	-4.8%	307	314	299	-2.7%	10.4%
米州	16	13	-18.7%	-9.0%	63	59	55	-12.9%	-0.2%
欧州	12	12	6.3%	16.4%	46	49	46	-0.8%	12.7%
アジア他	48	39	-18.8%	-7.9%	192	199	183	-4.9%	8.8%
日本	2	1	-22.6%	-22.6%	6	7	16	144.8%	144.8%
産業機器	225	118	-47.3%	-44.9%	504	443	443	-12.1%	-9.2%
米州	6	7	24.3%	-	25	28	29	16.1%	-
欧州	7	5	-27.7%	-	19	26	24	24.0%	-
アジア他	195	89	-54.1%	-	392	302	292	-25.3%	-
日本	17	17	-2.2%	-	68	87	97	42.5%	-
工業用部品	45	45	1.4%	4.9%	181	202	194	6.9%	10.5%
米州	7	7	4.9%	16.7%	28	29	28	-0.4%	13.3%
欧州	0	0	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	4	4	11.0%	30.5%	15	17	16	12.0%	28.6%
日本	34	34	-0.5%	-0.5%	139	156	150	8.1%	8.1%
事業セグメント利益	62	19			114	57	58		
営業利益	63	19			114	56	56		

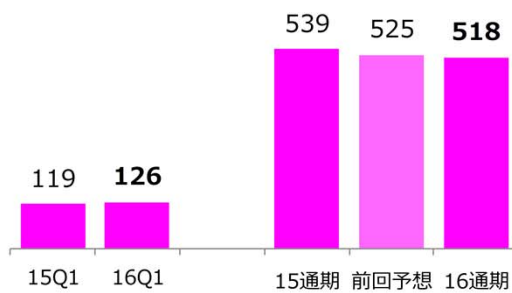
© 2016 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

11

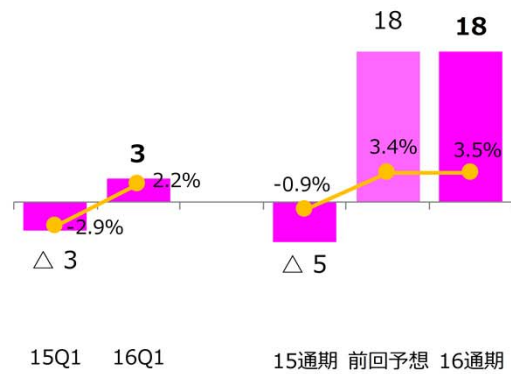
※補足はありません

	15Q1	16Q1	対前年 伸び率	15通期	前回予想	16通期	対前年 伸び率
売上収益	119	126	5.6%	539	525	518	-3.9%
事業セグメント利益	△ 3	4		22	20	20	
営業利益	△ 3	3		△ 5	18	18	

<売上収益>



<営業利益>



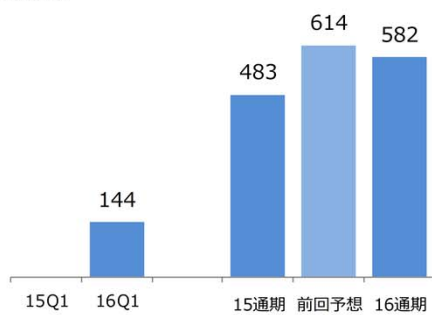
売上収益は、通信カラオケ機器の販売が堅調に推移し、増収。

利益面は、経費削減や店舗収益の底上げなどの取り組みの効果もあり、黒字化。

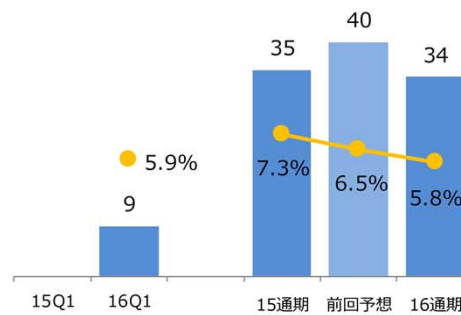
	15Q1	16Q1	伸び率	現通Q1-16 伸び率	15通期	前回予想	16通期	対前年 伸び率	対前年 現通Q1-16 伸び率
売上収益	-	144	-	-	483	614	582	20.5%	-
米州	-	33	-	-	112	138	136	21.8%	-
欧州	-	71	-	-	239	310	290	21.5%	-
アジア他	-	40	-	-	133	165	156	17.5%	-
事業セグメント利益	-	9	-	-	38	40	38		
営業利益	-	9	-	-	35	40	34		

※15年度は第2四半期以降の9か月分の実績

<売上収益>



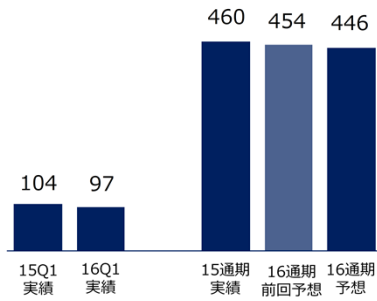
<営業利益>



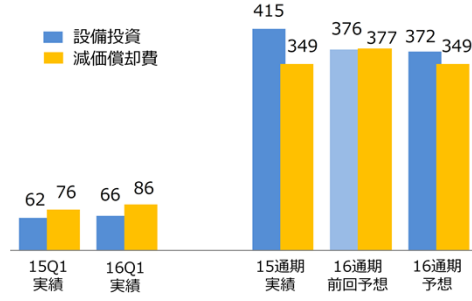
中国市場が落ち込んでいることを除けば、概ね堅調に推移。

消耗品・サービスは堅調で、年率5%程度の成長が持続。

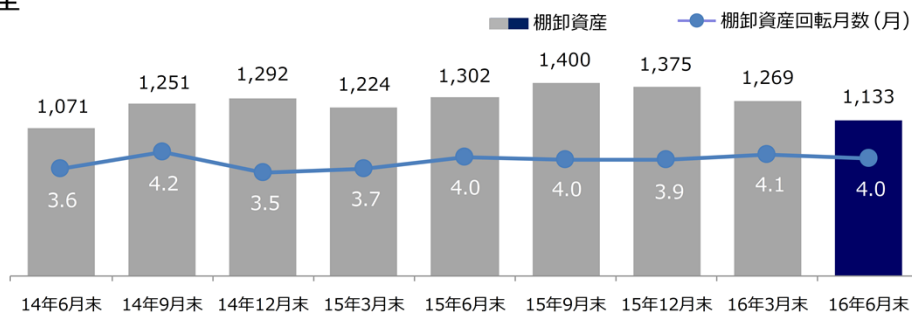
研究開発費
(億円)



設備投資・減価償却費
(億円)



棚卸資産
(億円)



※15年6月末の棚卸資産残高にはドミノ事業分を除外して表示しております
 ※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

※補足はありません

brother
at your side